

美郷町国民健康保険西郷病院新改革プラン

点検・評価報告書

< 平成28年度 >

美郷町地域包括医療局

はじめに

総務省より平成26年度に「新・公立病院改革ガイドライン」が通知されたことにより、美郷町国民健康保険西郷病院新改革プランを平成28年度に策定いたしました。これにより、病院機能の見直しや、病院事業の経営の改革に取り組み、そのプランを住民に対して速やかに公表するとともに、自己点検を行ない、有識者や地域住民の参加を得て設置した評価委員会において評価、見直し等をするなどして、客観性を確保することとしております。

今回、平成28年度の決算を受けて、新改革プランの点検と評価を行ったことから、その結果を報告いたします。

美郷町国民健康保険西郷病院新改革プラン概要

団体名		美郷町	
プランの名称		美郷町国民健康保険西郷病院新改革プラン	
策定日		平成29年3月13日	
対象期間		平成28年度 ～ 平成32年度	
病院の現状	病院名	美郷町国民健康保険西郷病院	
	所在地	宮崎県東臼杵郡美郷町西郷田代29番地	
	病床数	29床（うち一般病床29床）	
	診療科目	内科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科	
公立病院として今後果たすべき役割（概要）		民間医療機関の進出が困難なへき地不採算地区において、救急医療を含む地域住民に必要な医療を提供するとともに、政策医療機関として、町が企画する健康づくり事業の支援主体となり地域包括ケアの推進を担い、町内外近隣の医療機関との協力・連携により地域住民の医療と健康保持増進に貢献する。また、町内唯一の病院として2次救急医療を提供できる体制を維持する。 当院は、平成18年に「へき地医療拠点病院」として県より指定を受けており、へき地における医療を効率的・効果的に提供するために、医療人材の育成・充実に努めるとともに、巡回診療や代診医派遣等の支援、人工透析サービスの提供を行なう等、広域的で重要な役割を担う。	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表の体制	点検	院内で実施
		評価	美郷町国民健康保険運営協議会で実施
		公表	美郷町ホームページで公表
	数値実績、点検結果・評価の内容	別紙のとおり	
その他特記事項			

1) 経営指標に係る数値目標

①経常収支比率 (%)

27年度 実績	28年度				概要・未達成の理由等
	目標	実績	増減	達成率	
103.1	100.0	96.3	△3.7	96.3	入院・外来患者の減少や透析患者の入院等による 医業収益の減少、また、一般会計繰入金の減少による

※経常収益（医業収益＋医業外収益）÷経常費用（医業費用＋医業外費用）×100
⇒ 567,786千円÷589,341千円×100

②医業収支比率 (%)

27年度 実績	28年度				概要・未達成の理由等
	目標	実績	増減	達成率	
70.2	68.7	64.4	△4.3	93.7	入院・外来患者の減少や透析患者の入院等による 医業収益の減少による

※医業収益÷医業費用×100
⇒ 374,688千円÷582,135千円×100

③職員給与比率 (%)

27年度 実績	28年度				概要・未達成の理由等
	目標	実績	増減	達成率	
75.5	77.8	84.2	6.4	92.4	入院・外来患者の減少や透析患者の入院等による 医業収益の減少による

※職員給与費÷医業収益×100
⇒ 315,459千円÷374,688千円×100

④病床利用率 (%)

27年度 実績	28年度				概要・未達成の理由等
	目標	実績	増減	達成率	
88.1	80.0	64.9	△15.1	81.1	入院患者の減少による

※年延入院患者数÷年延病床数×100
⇒ 6,868床÷10,585床（29床×365日）×100

⑤医療材料比率 (%)

27年度 実績	28年度				概要・未達成の理由等
	目標	実績	増減	達成率	
24.2	22.1	23.3	1.2	94.8	入院・外来患者の減少や透析患者の入院等による 医業収益の減少による

※医療材料費÷医業収益×100
⇒ 87,345千円÷374,688千円×100

2) 具体的な取組み内容に係る点検・評価

※◎実施済み・成果あり、○進行中・一部成果あり、△未実施・成果なし

項目	計画	点検	評価
増収対策	①料金に関する事項 ・入院基本料施設基準10対1を基本	・適切な入退院の管理に努め、11月から施設基準を13対1から10対1に変更し、入院単価を改善した。 1121点(13対1)→1332点(10対1) ただし患者数の減少により収益自体は減少した。今後も引き続き10対1を維持する体制をとる。	○
	②その他医業事業 ・健康診断や予防接種を積極的に実施	・町内外の事業所、町内幼小中学校、保育所、官公署からの健康診断の受入れと予防接種事業に積極的に取り組んだが収益は前年度比98%だった。町福祉部局と連携して、早期発見・早期治療の広報・啓発に努めるようにする。	○
	③未収金対策 ・過年度未収金の解消に努める	・町税等対策委員会において他部局との情報共有を図り、未収金対策に努めた。引き続き、債務者へ働きかける。 28年度末 3,885千円 29年度末 3,749千円 収納額136千円	○
	④その他 ・平均在院日数を21日以下に抑える	・関係施設との連携により適切な入退院管理を行ない、平均在院日数を21日以下に抑え、入院基本料施設基準を10対1に変更することができた。	◎
経費節減対策	①人件費に関する事項 ・総人件費の急激な増加を抑える	・人事異動により看護師2名増、医療技術員(薬剤師)1名減となり、前年度から微増した。今後は年齢増による人件費の増加が見込まれるが、看護師、薬剤師、検査技師などの病院運営に必要な人員確保に努める。	○
	②材料費の削減 ・ジェネリック医薬品の導入を進める ・材料費のコスト削減を図る	・患者の同意を基にジェネリック医薬品の推進を図った。 新薬比率 29.0%(H27)→70.2%(H28) ・複数社から見積を徴収し、購入単価を下げている。	○
	③委託料・使用料の見直し ・委託業務、賃貸借業務の見直しを図る	・委託、賃貸借業務の契約更新時期に内容確認と見直しを行なってきた。現在のところ大きな変更はないが、適宜見直しを行なっていく。	○
	④光熱水費、消耗品費の削減 ・電力消費量を監視システムを活用して抑える ・納入コストを抑える	・監視システムの効果により、電力基本料を月額約37,500円下げることができた(1月から3ヵ月間)。引き続き省電力に取り組む。 ・見積徴収業者を拡大し、納入先の固定化を極力避けた。	◎

※◎実施済み・成果あり、○進行中・一部成果あり、△未実施・成果なし

項目	計画	点検	評価
その他の事項	・医療スタッフ確保の一環として、研修医や医学生の受入れを行なう	・研修医7名、医学生22名を受け入れ、地域医療実習を行なった。その際には地域医療塾を開催し、地域の課題や目標など意見交換を実施した。	◎
	・働きやすい職場づくりと医療機関のアピール	・ストレスチェックや面談を実施し、メンタルヘルスや職場環境の改善を実施した（業務内容見直しや賃金改定等）。また町内外のイベントに病院として積極的に参加し融和と親しみやすさのアピールを図った（地藏駅伝、互助会玉入れ等）。	◎
	・経営説明会を開催し、短期、長期の経営計画を共有する	・毎月開催する院内管理会議において、患者数や収益の状況、経費の推移、予算などの説明を行ない、病院経営について意識改革に取り組んだ。結果、各部署において話し合いが行われコスト意識が高まった。	◎

3) 再編・ネットワーク化に係る点検・評価

※◎実施済み・成果あり、○進行中・一部成果あり、△未実施・成果なし

項目	計画	点検	評価
再編	・現時点では行わない	・町内唯一の病院であり、24時間救急受入体制や透析医療を実施し、また地域医療拠点病院としての機能を有することなどから、公立病院改革ガイドラインで示された再編を行なう状況には、現段階では無い。	○
ネットワーク化	・町内2つの診療所と連携を図る ・電子カルテ等の導入により情報ネットワーク化を図る ・へき地医療ネットワーク化推進事業により近隣自治体への代診医の派遣を行なう	・地域包括医療局として、常に町全体の医療を3施設で取り組んでいる。 ・電子カルテ取扱業者による勉強会を開催し、職員の理解向上を図った。 ・諸塚診療所へ10回（日）の代診医派遣を行なった。	○

4) 経営形態の見直しに係る点検・評価

※◎実施済み・成果あり、○進行中・一部成果あり、△未実施・成果なし

項目	計画	点検	評価
経営形態の見直し	・現時点では行わない	・民間譲渡、診療所化、老健施設への移行は、考えられないので、現在の経営形態のまま改革を行う（公営企業法財務適用継続）。	○